

第206回  
定例探鳥会

日時：2004年2月8日(日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 大堂 浅間山 湘南平

今朝はいい天気になりました。そのせいか参加者もお花見探鳥会並みの多さです。いつものようにまず神社から高麗山全体を外から見回すと、見ていると神社の右側の茂みからどうもクロジのような地鳴きが聞こえました。一人で確認しに行きましたが私は姿を見つけることは出来ませんでした。数人の方がその後その場所でクロジの を見る事が出来ました。山の中ではルリビタキの 、大堂上空ではヒメアマツバメとイワツバメが飛翔し、このイワツバメは越冬なのか渡りなのか悩みました。

先月、大堂南面でクロジがいた場所にゆっくり行くと何か動くものがいました。またクロジかと目を凝らすとソウシチョウ5羽でした。完全に居ついているようです。浅間山ではノスリ。湘南平ではシメが沢山見られましたが、天気がいい割には鳥の数が少ない日でした。

参加者

参加人数 46名(敬称略)

- |             |              |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 1. 鈴木 逸子    | 2. 八木 正      | 3. 吉田 敬一    | 4. 中村 容      | 5. 瀬尾 隆     |
| 6. 下倉 紘一    | 7. 山田 文則     | 8. 南 博      | 9. 南 那津子     | 10. 小野 肇    |
| 11. 鈴野 嘉久   | 12. 木田 ハマ    | 13. 片倉 暹    | 14. 片倉 朝子    | 15. 石原 遼    |
| 16. 沢田 興三   | 17. 松下 弓子    | 18. 大谷 秋代   | 19. 大谷 道男    | 20. 吉田 宣子   |
| 21. 加藤 卓也   | 22. 別所 三郎    | 23. 松本 鈴子   | 24. 伊藤 武雄    | 25. 室野 義晴   |
| 26. 岩沢登志子   | 27. 清水 哲子    | 28. 河野 宏    | 29. 河野 英美子   | 30. 上野 尚博   |
| 31. 杉山 勇    | 32. 杉山 裕子    | 33. 杉山 紹美   | 34. 杉山 睦美    | 35. 岩崎 泰    |
| 36. 下田 康子   | 37. 中村 豪夫    | 38. 大川 幹夫   | 39. 関谷 育雄    | 40. 関谷 昂    |
| 41. (田端 裕)  | 42. (西ヶ谷 修一) | 43. (岩佐 昌夫) | 44. (内山 規矩雄) | 45. (金子 典芳) |
| 46. (斎藤 常實) |              |             |              |             |

見聞きした鳥

種類数 25種(ドバトを含む)

- |          |          |         |             |              |
|----------|----------|---------|-------------|--------------|
| 1. トビ    | 2. ノスリ   | 3. キジバト | 4. (ドバト)    | 5. ヒメアマツバメ   |
| 6. イワツバメ | 7. アオゲラ  | 8. コゲラ  | 9. ヒヨドリ     | 10. ルリビタキ    |
| 11. シロハラ | 12. ウグイス | 13. エナガ | 14. ヤマガラ    | 15. シジウカラ    |
| 16. メジロ  | 17. アオジ  | 18. クロジ | 19. カワラヒワ   | 20. シメ       |
| 21. スズメ  | 22. ムクドリ | 23. カケス | 24. ハシブトガラス | 25. (ソウシチョウ) |

## 高麗山の植物…その ナギ (西ヶ谷)

こまたんの植物博士・西ヶ谷さんが、高麗山の植物について解説していただけることになりました。シリーズで掲載していきますのでお楽しみください。第1回目は高来神社の境内にも見られる『ナギ』です。

針葉樹とは思えないがマキの仲間であることを表す葉脈が細い平行脈でランの葉に似ているので分かる。神社や墓所などによく植えられている。高来神社に大きなナギがある。田んぼに生えているコナギに似ているためこの名前がつけられた。種子からとった油は神社の灯油用に使われた。奈良市の春日大社は大木が多く国の天然記念物になっている。アオバトについてのまつわる話を紹介しよう。

……………  
1971年の冬、春日山原始林のナギ林で300羽位のアオバトが大挙しておしよせた。それが、ナギの雌木に20～30羽ずつくらいとりついてた。このアオバトがバタンバタンと落ちて死んだ。

肛門周辺の汚れはひどかった。解剖してみると、胃の中からナギの実が3つも4つも出てくる。ほとんどが未消化のまま、腸をふさいでいるのもあった。この実によって、ひどい下痢を起こし、脱水状態になって死んでいったのである。この年は開発による丘陵地の壊滅で、食糧不足でふだん食べないナギの実までを口にしたためでの受難である。

……………土屋 郁二(奈良市在住)・野鳥誌・396号より



## シラサギの看板設置

花水川の平塚大橋の下流右岸(川の西側)にサギのねぐらがあります。コサギ、ダイサギ、アオサギ、ゴイサギなど、多いときには200羽を越すサギ類が夜を過ごしています。川の改修工事の影響などもあるかもしれませんが、最近はこの地に集まるサギの数が減ってきています。シラサギは平塚市の鳥に制定されていることもあり、こまたんでは「県の平塚市土木」にねぐらの保全を訴えてきました。この熱意が県に届き、平塚市の環境政策課との連携でシラサギ保護の看板が設置されました。

設置場所：金目川(花水川)右岸の「シラサギ等のねぐら」付近の堤防上のサイクリングロード沿いで、住宅地からのアクセス道路と交差する場所。

設置数：2基

看板の大きさ：文字板は90(縦)×120(横)cm、看板の高さは地面から210cm

看板の内容：右記のとおり

すぐ側の中州のムクドリのねぐらについても書かれています。県と市のすばやい対応に感謝いたします。

〔市の鳥のマーク〕

この付近は、シラサギ(コサギ)のほかにムクドリなど小鳥たちの「ねぐら」となっています。

平塚市民の鳥として親しまれているシラサギや野鳥たちのお休み場を守るため、近づいたり、脅かしたりしないようお願いします。

平塚市環境部

## 中州の耕作禁止と銃猟禁止区域の拡大

2月21日にひらつか市民活動センターで開かれた、こまたん主催で平塚市長を交えた「学びトーク」での話し合いから、いろいろな活動が実を結ぶ方向で動き始めました。

平塚大橋下流の中洲での耕作については、県平塚土木 河川砂防課から「中州耕作禁止の看板を建てます」という連絡がありました。2月27日にお願いに行っただけですので、すばやい対応に驚くと同時に感謝しています

平塚・大磯西部丘陵地の銃猟禁止地区指定について3月4日にこまたんメンバーが市の環境政策課へ行き、狩猟の現状と禁猟化の要望の話をしてきました。県による次期銃猟地域の決定は5月ということなので、話し合いを継続していきます。

皆様のバックアップをお願いいたします。

## 予告:アオバト講演会

小田原市の生命の星・地球博物館から野鳥についての講演の依頼がありました。そこで、現在編集作業が続いている『アオバトのふしぎ』の刊行にあわせて、アオバトの講演会を予定しています。アオバトの紹介、照ヶ崎のアオバトの行動、丹沢での繁殖調査など、アオバトの魅力を、一般の来館者に約1時間でお話しようというものです。

日 時 : 2004年5月8日(土) 17時~18時

場 所 : 神奈川県立 生命の星・地球博物館

交 通 : JR 小田原から箱根登山鉄道「入生田(いりうだ)駅」から徒歩3分

車の場合は国道1号線「地球博物館前」交差点の脇(歩道橋に表示あり)

細かいことはこれから博物館と打ち合わせていきますが、DVDによる映像とスライドを使用した発表になります。詳細が決まり次第本紙でお知らせします。

### 【お知らせ】

#### コアジサシの台地造り

昨年は200羽以上が利用しましたが、すべての雛がチョウゲンボウによって捕食され、営巣を放棄してしまいました。しかし年々人口台地の利用頻度が高まっています。1羽でも多くの雛が巣立つことを願って、こまたんは今年も協力しようと思います。

日 時 : 3月20日(土) 雨天の場合は21日(日) 午前9時半~11時半

場 所 : 酒匂川飯泉取水堰下、JR 鉄橋上流右岸 駐車場有り

作業内容 : 酒匂川下水道整備事務所が造成した台地上に白石を拾い撒く(軍手持参)

その他 : 昼食時に豚汁が出ます

#### 定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2004年4月3日(第一土曜日)

生沢・鷹取山 2004年4月10日(第二土曜日)

午前6時に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散。雨天中止(4月から集合時間が変わります。1時間早くなりますのでご注意ください)

#### 問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

## 鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

### 虫窟のアオバト

2/16 竹藪の地面から1羽が飛び出す。性別は不明。今冬の虫窟での越冬個体の初観察。その後も観察を続けているがアオバトは確認されていない。

### レンジャク情報

... 今冬はキレンジャクの飛来数が多いようです。

2/9 虫窟スポーツ広場、ヒレンジャク5羽、ヤドリギの実を採食

2/22 虫窟、ヒレンジャク6羽、ヤドリギにとまるが実はほとんどなくなっている

2/26 上吉沢、キレンジャク2羽、ヤブランの実を採食

2/28 平塚市錦町、ヒレンジャク3羽、ピラカンサスの実を採食

2/29 上吉沢、12羽、キレンジャクがかなり多い(最低4羽)

3/6 吉沢・霧降の滝付近、13羽(キ:3羽、ヒ:10羽)、  
ヤブランの実を採食



吉沢のキレンジャク  
金子さん撮影 (3/6)

### その他の野鳥情報

トラツグミ : 2/11 鷹取山、1羽。 2/14 鷹取山・ゴルフ場内芝生、1羽

イワツバメ : 2/19 花水川、1羽

ウグイス : 2/19 横浜市青葉区、1羽、さえずり初認

クイナ : 2/20、2/21 花水川(桜ヶ丘幼稚園付近)、1羽、非常にきれいな個体

エナガ : 2/24 吉沢・鷹取山、尾羽が曲がった個体(抱卵中?)

キジバト : 2/24 吉沢、35羽の大群、畑に積まれている牛糞に集まる

カワラヒワ : 2/24 吉沢、48羽の大群

ベニマシコ : 2/28 土屋・谷戸、鳴き声を聞いた

カワセミ : 2/28 土屋・「土屋霊園入口」バス停側の竹林根元の穴に飛び込む(営巣?)

アリスイ : 2/28 酒匂川、1羽、河口のアシ原、木にとまる

ウソ : 3/2 吉沢・日之宮山、4羽( 3 1)、コナラの若芽をついばんでいた

ウグイス : 3/2 吉沢、さえずり(吉沢でのさえずりの初認は2/28)

ピンズイ : 3/6 土屋・遠藤原、2羽、草原から飛び出して木に止まる

次回の定例探鳥会は2004年4月11日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第205号 / 3月号 発行所:こまたん

齋藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/komatan/>  
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmj.or.jp/wbsj-k/>